

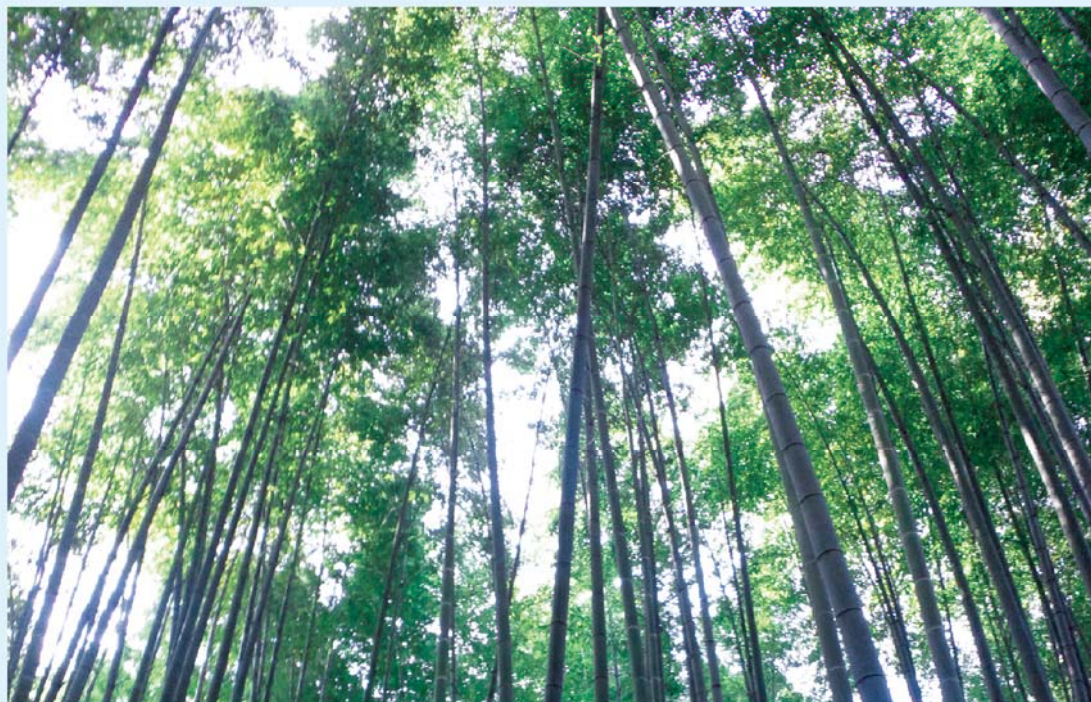
発行：平成23年8月25日



かながわ

No.55

看護連盟通信



撮影：広報委員 山内美智子



神奈川県看護連盟会長
近藤美智子

会員の皆様には平素から看護連盟活動をご支援いただき感謝申し上げます。

神奈川県看護連盟は、平成23年度の総会を6月24日(金)に115名の出席者のもとで無事に終了いたしました。

衆議院議員「阿部俊子」先生と昨年当選した参議院議員の「たかがい恵美子」先生は、国会で、また災害地で現地を見ながら看護の視点で貴重な提言をしたり活動しております。災害が発生した時の看護職の役割は、重要であり、その活動は人々の健康の維持と暮らしを身近なところで精力的に支えております。今年の総会では「3・11」後の

日本と題して、衆議院議員「小泉進次郎」氏の話をお伺いしました。その後青年部の平間佳明氏の東北大震災での活動報告がありました。

災害後の暮らしの中で生きていくことの厳しさ、つらさが伝わってきてこれから長期的に復興を支援していくことが必要かと思われました。できることが少しでもあれば応援したいと思います。

今年の看護連盟は、『政治力の強化』『組織の強化拡大』を目標に各支部での活動が期待されております。これは看護連盟が、第23回参議院議員選挙に向けた活動の中で、しっかりと看護の代表を国会議員として当選させることができるかどうかです。そのために力を併せて今から活動を開始していく必要があります。

今年の夏は厳しい暑さと節電との闘いです。皆様健康に気を付けて厳しい夏を乗り切ってください。

4ヶ月を迎えた被災地を訪ねて

日本看護連会長 清水嘉与子



3月11日の発災から4ヶ月を過ぎたというのに、まだ行方不明になっている方々も含め、被害の全容もつかめていないどころか、原発事故は終息の見通しさえ立っていません。津波からは逃れたもののいまだ避難所暮らしを余儀なくされていたり、さらに原発事故で被爆地からの立ち退きを強いられていたり、多くの方々が生活の基盤が崩されてしまっています。こうした中で、被災地の医療機関では今なお心に深い傷を受けながら、必死に患者さんの生命と向き合って頑張っている看護職員たちがいる…。

何かお手伝いをしたいが、何をしたいかわからないという看護連盟OGたちに呼びかけて2泊3日の「がんばれ東北」視察の旅に出かけました。まだ津波の爪あとがそのまま残っている状況に胸を詰ませ、被災地の病院の看護部長の凄まじい体験談に声を失いました。少しでも地場産業の復興に寄与したいと参加者一同しっかりと消費活動を楽しみました。参加者の一人が被災地の子供のサマーキャンプを計画しています。

看護協会の災害支援ナース派遣事業や行政保健師派遣などで看護職が大いに存在感を示しましたが、これから活躍するのは訪問看護。日本訪問看護振興財団は6月から宮城県名取市の仮設住宅で訪問看護事業を始めましたし、また被災地に限って認められた一人開業訪問看護師の活躍も実現を見ようとしています。とにかく看護職の蓄えているエネルギーの大きさをしっかり実感しているところです。

看護連盟会員の皆様へ

神奈川県看護協会会長 平澤 敏子



神奈川県看護連盟会員の皆様、当協会に対していつも温かいご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

「神奈川県看護連盟総会」が恙無く終了しましたこと、お慶び申し上げます。

「公益社団法人」として日本看護協会が4月からスタートしました。坂本すが新会長のもと、47都道府県の会長は、「地区理事」として理事会に出席することになりました。益々、お互いの連携を密にし、神奈川の看護職が、健やかに、いつまでも、そして生きがいを感じ、働きやすい職場環境づくりの活動を実践していきましょう。

日本看護連盟 通常総会



代議員報告


神奈川県看護連盟 吉武ひとみ

1. 開催日 平成23年6月14日(火)
2. 場所 東京プリンスホテル
3. 総会出席者総数 1,580名
4. 事項

- ① 物故会員53名並びに東日本大震災で亡くなられた方への黙祷で始まった。
- ② すべての提出議案は、原案通り決議された。
- ③ 第2号議案 平成22年度活動報告では、紙面報告以外に、今回の大震災での会員の状況(家屋全壊 93件、家屋半壊 34件、会員死亡 1名)が報告された。
- ④ 第3号議案 平成22年度決算報告では予備費から550万円が義援金として支出されたことの報告

がされた。

- ⑤ 第8号議案 日本看護連盟規約並びに細則の一部改正では組織強化と会員拡大を図るため、特別会員が認められ明記されることになった。またブロック協議会は全国9ブロックから6ブロック編成に変更となった。
- ⑥ 第9号議案 第23回参議院議員選挙対策では具体的な候補の名は挙げられなかったものの、今回日本看護連盟の通常総会に列席された日本看護協会会長坂本すが氏をはじめ、関係者らと協力し早急に候補者の検討に入ることを清水会長が力強く語られた。また自薦・他薦問わず積極的な立候補を受け付けることも付け加えられた。



「丸文ミネラル」は、化学物質を一切使用せず、磁気力で水を浄化する浄水器です。水道管に取り付けるだけで、半永久的に浄水機能を保ちますので毎日気軽に美味しく機能的な水をお楽しみいただけます。

磁気活水装置 [丸文ミネラル]

MARUBUN MINERAL

磁気ので、毎日の水をおいしく、ヘルシーに。

使用方法

丸文ミネラルの使用時は、ご家庭の水道管を、本体で挟むようにして取り付けてください。セラミック磁石のはたらきにより、特別なお手入れなしに、半永久的に水を浄化します。

1. 丸文ミネラルを本体を上下のパーツに分け、右図のように水道管を挟みます
2. 上下のパーツについての矢印マークが揃うよう方向を合わせます
3. 2箇所を付属の蝶ナットで固定します (上下のパーツを同じ方向に向けてください)

仕様

商品名:丸文ミネラル 磁力:4,800ガウス
 本体寸法:幅120mm×高さ67mm×奥行80mm
 材質:セラミック合金(磁石)、ポリプロピレン(ケース)
 取付箇所:各種配水管

株式会社 丸文 〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-10-6 TEL 03-5694-5298 FAX 03-5694-7772

神奈川県看護連盟 通常総会

と き 平成23年6月24日(金) 13:00
 ところ ロイヤルホールヨコハマ

《議事》

平成22年度の報告事項と平成23年度の活動計画、
 予算、新役員の審議が無事に終了した。

《特別講演》

テーマ 「3.11」後の日本

講 師 小泉進次郎衆議院議員

震災後の東日本（宮城県女川近くの島）の被災者
 の方々の厳しい生活状況が話された。

島民500人くらいの島が、今生活している方は、
 わずか数人であること。100日以上経っても電気が
 通らず、自家発電でしのぎ、1週間に1回、船で食料
 を調達する生活の様子や、家が流され、島に戻りた
 くても戻れず、避難所で生活をしている様子の報告
 があった。

このことから、行政と国の支援との連携の必要性
 があり、数多く現場に足を運び、現場を見て、今自
 分がやれる支援をしていると話された。

また原発に対しては、この政策を進めてきたのは、
 自由民主党であり、大いに反省している。そして今、
 自由民主党も脱原発という考えだが、他のエネルギ



ーへの移行には充分議論し、時間をかけて減らして
 いきたいという考えを示された。

特別講演を通し、私達看護職が、今やらなければ
 いけないことが沢山あること、我々（看護連盟）が、
 政治の力で政策、制度を動かし、より早くと確な支
 援ができるように協力していくことが大切である。

《報告会》

テーマ 「東日本大震災ボランティアを体験して」

報告者 青年部Life相談役 平間 佳明

平成23年度 役員

会 長	近藤美智子
副会長	桃田寿津代
副会長	神部 周子
副会長	野地 金子
幹事長	①山内 精子
幹 事	由川 文子
幹 事	小形留美子
幹 事	小池トモエ
幹 事	藤原紀美子
幹 事	齋藤 拾子
幹 事	①廣田とき子
幹 事	①山本 道子
監 事	久保田恵子
監 事	保坂 一美

平成23年度 支部長・幹事長

支 部 名	支部長	幹事長
連盟川崎支部	二見 和子	千葉 芳子
連盟横浜第1支部	光谷 和子	①水川 寿子
連盟横浜第2支部	土田 博美	佐藤 一代
連盟横須賀支部	桑島 和子	中村 晃子
連盟相模原支部	吉武ひとみ	池田 恵子
連盟県西支部	与那原明子	西野 廣子
連盟湘南支部	松本 敦子	①長谷川よし子
連盟県央支部	奥本 信子	①小林 明美
連盟富士見町支部	目久田千恵子	立川 直美
連盟川崎助産師会支部	菅原サキ子	①勝俣喜代子
連盟横浜市西部支部	①片桐恵美子	吉田 文子

青年部 Life

代 表	①又吉 慧
副 代 表	岩本 大希
政策運営委員	中野 香織

●● 平成23年度 活動計画 ●●

重点目標

組織力を強化し
活動を活性化する

【平成23年度活動基本方針】

1. 徹底した会員確保対策を促進する
2. 看護連盟活動の理解と政治意識を啓発し組織の強化を図る

項目	目 標	活 動 内 容
政治力の強化	1. 看護政策に関する議論を活発に行える環境をつくる	1) 看護協会との連携を密にし、看護現場の意見や問題を討議し、国政に反映させる 2) 会員への情報提供・情報交換をより効果的に行うために、アンフィニ、ウイークリーの活用・ホームページの充実 3) 看護協会とともに県・市に予算要望書の提出・要望趣旨説明
	2. 国会・地方議員への影響力を強める	1) 看護を支援する国会・地方議員との勉強会や意見交換を行い看護問題解決への努力をする 2) 「現場の声」を国会・地方議員に伝える 3) 選挙応援、活動応援
	3. 看護職の国会・地方議員を確保する	1) 第23回参議院議員選挙に向けた活動—4,500票以上を獲得するため、会員への活動方針の徹底周知・OB会員へのはたらきかけを強化する 2) 看護職の地方議員候補者の発掘・育成—政治アカデミーに派遣し、卒業生を積極的に活用する 3) 看護を支援する国会・地方議員の賛助会員としての入会を促進し、支援体制を強化する
組織の強化・拡大	1. 組織の充実・強化	1) 支部組織の充実を図る (1) 支部の活動内容を明確にする (2) 会員数の目標値を定め、会員の獲得を目指す (3) 支部活動を活性化し、一人ひとりの活動力を強化する 2) 会員目標数の達成のため、施設訪問を計画的に行い、協力関係を深める 3) 支部活動に対する県役員のバックアップ体制の強化
	2. 会員の獲得と定着	1) 支部中心に施設訪問を計画的に実施し、入会促進と連盟活動のPRを行い理解を深める 2) 未加入者に対し、アンフィニ・連盟通信等による情報提供し、理解を深め加入を促進する 3) 若手会員の組織活動への参加促進と育成 (1) 青年部Lifeによるホームページ・メールマガジンによる情報提供・活動へのPR (2) 青年部Lifeの活動への参加促進 (3) ポリナビワークショップ等を開催し、連盟活動の理解を深める 4) 学生会員の獲得と育成 (1) 看護系大学・専門学校に情報提供し、活動への理解を深める (2) 青年部Lifeの活動への参加等により、看護政策及びその実現の必要性について学ばせる
	3. 研修受講による連盟活動への理解を深める	1) 基礎研修の実施（支部・県） 2) リーダー研修への積極的な参加 3) 県主催研修会（7月・11月・2月）開催
	4. 活発な情報流通	1) 会員・非会員に対する広報活動を推進する 2) 県連盟通信を発行する（年2回） 3) 県看護連盟のホームページを運営する 4) 会員の意見を政策提言に活用するために、「現場の声を聞かせてください」の記載を徹底する 5) 国会見学を行い、連盟活動に対する会員の理解を深める（10月14日）
組織の適正な運営管理	1. 施設・支部・県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	1) 定例会議等を通して、本部・県・支部の連携を強化する 総会への出席（本部・県年1回） 県役員会議開催 年10回以上 県役員・支部役員合同会議開催 年5回 2) 支部の運営を支援する 支部役員会議 支部別に随時開催 3) 県別会議 年1回 4) 協会との連携を強化し、意志疎通を図るため、協会理事会に会長出席
	2. 事務局の運営を適正に行う	1) 会員を適正に管理する 2) 財政を適正に管理する
会員の福祉	1. 慶弔への対応 2. 諸問題への対応	1) 規約に基づき対応する 2) 専門家と相談の上、速やかに問題解決する

東北出身のあべ俊子、たかがい恵美子議員は、自民党の災害対策担当者として、震災直後から現地に入り、さまざまな活動と復旧・復興に向けての提言を発信してきました。その一端をお届けします。



あべ俊子国政活動ニュース (号外5)

平成23年3月20日発行

いのち・くらし
いちばん!!

あべ俊子



<連絡先> あべ俊子事務所

東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館514号室

Tel 03-3508-7136 Fax 03-3508-3436

E-mail h08686@shugiin.go.jp HP <http://www.abetoshiko.com>



東日本巨大地震 がんばろう日本! 国民運動的取り組みで救援復旧を急げ



さる、3月11日、わが国の観測史上、最悪の自然災害が発生しました。マグニチュード9.0の大震災は、岩手県から宮城県、福島県を直撃し、沿岸地帯は街ごと、津波にさらわれていきました。

今般の震災での被害者は、死者七千人超、行方不明者も含め、二万人を超え、今、なお三十九万人の方が、不自由な避難所での生活を続けていらっしゃいます。

このような国家の非常事態を乗り越えるにあたり、もっとも重要なことは、情報の共有と連携です。

わが党は、政府与党と情報交換をし、政府が足らざるところをわが党が補う、という方針で、被災者対策に協力してまいりました。

<自由民主党災害対策本部>事務局長

震災から1週間が経ちました。

この間、私は、自由民主党「巨大地震緊急対策本部」の事務局次長として、また、対策本部に設置された複数のチーム(「物資」、「義援金」、「原子力発電所」、「ボランティア」、「医療」)のうちの「医療班」のメンバーとして、活動してまいりました。

被災地からは、「水がない」、「食べ物ががない」、という非情な叫びが次々と届き、病院の医師たちからも、「ひとつのおにぎりを3人で分けて食べた」など、ライフラインも途絶えた真っ暗な病院の中で、不眠不休で働いてくださいました。その方々の声に応えるべく、「医療班」は、病院間での医薬品の融通や、生活物資の搬送などを担当し、私も個人のネットワークを駆使し、知り合いに電話やメールで情報提供をよびかけました。

震災が起きた日は金曜日の午後でした。翌日には、土日を迎えてしまったこと、未曾有の被害の甚大さに、初期対応は必ずしも万全ではありませんでした。

この3連休も、対策本部に詰め、1日2回事務局会議で情報を共有し、各チーム(物資、寄付金、原発、ボランティア、医療)ごとに精一杯の活動を続けました。それでも、甚大な被害への対応は追いつかず、長期間の避難所生活や、物資や人も足りなくなった病院で、いったん救われた命が、今なお、次々と失われていることが無念でなりません。

<必ずや復興を！>

昨日より、少しずつ物流がまわりはじめ、状況は少しずつ改善の兆しも見えつつあります。この未曾有の惨事から立ち直るため、引き続き全力を尽くしてまいります。必ず復興します！

募集

国会
見学

日時 平成23年10月14日(金)

参加費 2,000円(昼食付)

集合場所 横浜駅西口天理ビル前

締め切り 平成23年9月16日(金)

集合時間 午前8時15分

人を大切にする社会、働くことを楽しいと思える社会、明日に希望が持てる社会づくり
 やりがい、いきがい。たかがい！ ～成熟社会を創る看護力～

平成23年4月4日発行

たかがい恵美子の活動報告

宮城県の被災地へ



参議院議員 高階恵美子事務所
 東京都千代田区永田町2-1-1
 参議院議員会館714号室
 Tel. 03-6550-0714 Fax 03-6551-0714
<http://www.takagai-emiko.net>

3月26、27日に血圧計、聴診器、体温計などの必要器材を詰め込んだ訪問バックと医薬品、衛生材料、衣類などの支援物資を携えて、宮城県沿岸地域の被災地に入り、病院、訪問看護ステーション、県庁、避難所などを訪問するとともに、被災地の山元町長などからお話を伺いました。

避難所においては避難者の健康相談などを行いました。乳幼児を抱えている家族は、大勢の人がいる避難所では夜泣きなどで迷惑をかけてはいけなと気が休まらないとのこと。高齢者は血圧を測ってみるとおおむね平常より高め。最初は皆一様に遠慮がちでしたが、「みんなが被災しているのですから、周りに助けを求めてよいのですよ。」と声をかけながら健康相談をしているうちに、体調変化や睡眠障害、気分の変化、親戚の安否などを話してくださいました。避難所の生活に相当なストレスを抱えている状態にあり、一日も早く安らげる環境の提供を急がなければなりません。

病院のスタッフは、家族を失いながらも交代要員もいないまま休みなく働き続け、疲労困憊状態で気力だけで何とか自分を支えているような状態。訪問看護ステーションも同様に医薬品・衛生材料の物資不足に加え、スタッフは不眠不休で業務にあたっており、看護職・介護職が必要とされています。県庁の障害福祉部、保健衛生部の職員から、障害者、高齢者等の支援に関して、マンパワーの不足、衛生資材等の物資の不足、移動のための車・ガソリンの不足の問題により十分な福祉サービスが提供できずにいること、県会議員からは、学校再開にあたっての問題や漁業、農業、畜産業あらゆる産業が壊滅的な状況であることなど、現在の状況と今後の支援要請についてお伺いしました。食料・飲料など命をつなぐ物資はもちろんですが、暮らしに必要な衣類の他、長靴、洗剤、掃除用具などの物資も不足しています。更には、生鮮食料も不足しています。特に自宅で避難されている方は物資の調達などに苦労されており、高齢者は出かけることも困難でひきこもっている状況にあり、このような弱者にも物資が行き渡るような仕組みが必要です。

一瞬にして人の命も平穏な暮らしも何もかも奪っていた津波の被害により、一面のがれぎと化した街は言葉で語ることはできないほど悲惨な光景が広がっていました。自然の脅威の前に人はなすすべもありませんでしたが、復旧・復興は人の手を通して成し遂げられるものです。被災地の復旧・復興のために、決してあきらめず、投げ出さず、政治家として、看護師として自分のできることを精一杯尽くさなければならないと決意を新たにいたしました。



トータルサポート。

- 寝具設備・病衣レンタル
- ユニフォームのリース・販売
- オムツ(布・紙)レンタル
- クリーニング全般
- 介護用品のレンタル・販売
- 給食業務受託 等

株式会社 柴橋商会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル

Tel.045-312-5700 <http://www.shibahashi.co.jp>



夏の研修会

「神奈川の力を結集するために」

—長野県の活動に学ぶ—

日 時 平成23年7月29日 14:00～16:50
 会 場 ホテルキャメロットジャパン
 講 師 長野県看護連盟会長 原 宏子氏
 参加人数 70名

一般会員も参加して、県看護連盟役員、支部長、幹事長、幹事を主な対象に表記の研修を実施した。講師には、長野県看護連盟活動を推進し実績を上げ、先の選挙では高得票を獲得した長野県看護連盟会長をお招きして、連盟活動の実際と今後の取り組みについて講演をいただいた。

- ①県下全施設の訪問実施
- ②全会員の基礎研修受講達成



③会員数の増大

④支部の増加とその組織の強化

などについて具体的な計画の下に徹底した過程と結果の目標管理を実践しているお話に多くの示唆を得た。

中でもインパクトのある熱いメッセージを込めての県看護協会と県看護連盟の連携による施設訪問の話は大変参考になった。

講演の後は、11支部に分かれて、次回選挙における神奈川県の獲得目標数の4500票達成のため提示された課題「支部毎の獲得目標数とその根拠、戦略とその工夫点」をグループワークし、その結果を報告しあった。困難なことはあえて目指すとの講師の情熱と活力に刺激され獲得目標数を上乘せした支部の発言もあった。



ポリナビワークショップ開催のお知らせ

去る3月12日開催予定のポリナビは東日本大震災発生の為、延期させていただきました。再度、内容検討の上、次のとおり開催予定です。

- 日 時 2011年12月17日(土) 13:00 受付開始
- 場 所 ガーデンシティ横浜 (横浜駅 徒歩5分)
- テーマ 仮題「災害に学ぶ」

神奈川県看護連盟青年部 Life

ジュエリーとの縁を大切に

貴女にピッタリの宝石と
 出会うことができる

宝石のおぎはら

〒114-0015 東京都北区中里2-4-8
 TEL 03-3915-2803 FAX 03-3915-2838
 営業時間 10時～19時半 定休日 日曜・祝日
<http://www5.ocn.ne.jp/~ogihara/>

編集後記

3・11の東日本大震災の折は、皆様の職場や御家庭でも大変だったことと思います。被災された方々に心より御見舞い申し上げます。震災と原発事故は私達のライフスタイルを根底からゆるがす衝撃的な出来事でした。

今号では被災地での看護職代表議員の活動の一端をお伝えしました。私達も、各自ができることを実践し続けていきたいと思っています。

広報委員 由川 文子 山内美智子
 畠山 友子 川満 直美 浅川 仁美

発行 神奈川県看護連盟

発行責任者 近藤美智子

〒231-0037
 横浜市中区富士見町3番1 神奈川県総合医療会館6F
 TEL 045(263)2801 FAX 045(263)2802
<http://www.kanagawakangorenmei.jp/>



羽毛ふとんの東洋羽毛



リフォーム・クリーニングなど
 羽毛ふとんのことなら何でも
 東洋羽毛にご相談下さい。

「カレイ」は「エコマーク」100認証商品です。

TUK 東洋羽毛首都圏販売株式会社
 横浜営業所 横浜市旭区今宿西町1952-1

<http://www.touyoumo.co.jp> **0120-00-7663**